



熊本県保育園連盟 保育士会

こんにちは！保育士会です

R6

がっ

あけましておめでとうございます



お正月から、能登半島の地震・津波、飛行機事故など報道を見て心を痛めた方、熊本地震を思い出し、不安になった方もいらっしゃると思います。今の私たちは、当たり前な日常を穏やかに送ることが一番大切です。状況がわかり、必要なこと等ははっきりしたら、熊本地震の恩返しも含め、できることをしていきましょう。

2024年の干支は甲辰、新しいことに挑戦するとよい年、活気づく年と言われています。

まずは自分の身体とところを整えていきましょう。不安になった方、周りのこどもたち、卒園児・・・セルフケア等の情報をいただきました。参考にしてくださいね。

《情報提供》(全国保育士会 副会長より)

心がざわつくとき 検索：CAPACITAR(キャパシター)緊急時対応法

子どもたちが心配な時 検索：セーブ・ザ・チルドレン こどものための心理的応急処置



全国保育士会(熊本県保育園連盟会員のみなさんも会員です)

今回、全国保育士会、そこでの活動について少し紹介させていただきます。(今現在、保育士会会長が熊本県の委員として皆さんを代表して会議等に出席しています)

各都道府県、政令指定都市組織の保育士会会長が委員として出席しています。

保育現場の課題や取り組みについて具体的に深く考え、国に対して保育現場の声やこどものことを伝えています。

また、食育も含め、指針や教育保育要領、保育制度の中から必要な学びを具体的に計画し、現場で生かせる研修会等を開催していきます。(講師も指針等の改定に関わっている大学の先生方等多数です)

保育の友やエドゥケーレといった冊子の見直しや、全国保育士会だより編集にも取り組んでいます。

全国保育士会 HP の様々なリーフレットも保育現場の具体的な取り組みを反映した形で作成、すぐに生かせるものとして作られています。

全国は7ブロックに分かれており、熊本市は九州ブロックに属しています。

九州からは全国保育士会副会長、ブロック会長が常任理事として、他の委員は総務、研修、広報、制度・保育内容研究の4つの専門部会に分かれ、活動しています。熊本市は、この5年 制度・保育内容研究部会でこどもの貧困や保育現場の虐待に関するリーフレットの作成、見直しなどに取り組んできました。

九州ブロック会長会(九社連保育士会)では、九州三団体研修会の保育士会セミナーを企画運営、また、全国保育士会研究大会で発表の県・市を決めます。また、リーダーセミナーを開催、今回は「保育現場等におけるBCP(事業継続計画)」について学びます。折しも、石川能登の地震直後、大きな学びを熊本市の皆様を持ち帰りたいと考えています。

年度内に新しいリーフレット「こどもへの性暴力防止」の視点から考える保育の専門性(仮)～自らの保育実践を自信をもって発信するために～も第1弾として公表の予定です。日常のおむつ替えや抱っこの仕方、ふれあい遊び、午睡時、身体測定、沐浴、着脱、声掛けなど日常の保育を通してこどもの性や LGBTQ+といった点についても考えるのに良い資料です。

《研修会のお知らせ》

☆ 令和6年1月31日(水) 13時15分～14時45分 オンライン

保育の安全研修 『保育者を守る』～保育の安全と保護者とのコミュニケーション～
(保育の安全研究センター 掛札逸美氏)

- ・九社連保育士会会長会議及びリーダーセミナー (1/21 22)

テーマ「保育所等におけるBCP（事業継続計画）」

熊本市保育園連盟から保育士会会長と副会長が参加します
後日、報告させていただきます



- ・全国保育士会正副会長会議及びリーダーセミナー (2/14 15)
- ・第71回 熊本小児保健研究会【テーマ：不登校】

特別講演「こどもの育ちから捉える不登校」

帆足暁子氏（公認心理士、親と子どもの臨床選センター代表理事、保育士）



小学校に児童要録を届けるときに

保育、園で育んできた生きる力、「10の姿」を伝えることはとても難しいですよ。そこで、昨年もご紹介した、下のパンフレットを添えるとお伝えしやすいかも……。こどもの育ちを受け止めていただきましょう。

「子どもたちの育ちの連続性を確保するために」

～保育所・認定子ども園から小学校への円滑な接続をめざして～
(全国保育士会 HPよりダウンロードできます)

こども家庭庁のHPのぞいてみましょう

- こども大綱が令和5年12月22日閣議決定しました

「こどもまんなか社会」の実現に向けて、YouTubeで加藤大臣から子どもや若者向けにわかりやすくメッセージも送られています。

私たちが期待していたこと、思っていたことと違う・・・という意見もあるでしょう。

社会で若い保護者を支えていくことで、「子育ては楽しいからもう一人・・・」こどもが増えて笑顔があふれる～そのために私たちの専門性を発揮するときです！

いろんな経験を重ね、こどもも親も育つのを支えていきましょう。

私たちは支える立場、国の考えや、方向性を知っておくこともとても大切です。

- 「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（初めの100か月の育ちのビジョン）」も閣議決定。初めの100か月の育ち、すなわち、幼児期まで。まさに、保育の重要性。

不適切保育については令和7年度に法改正をし、発見者の通報も義務化の方向！

熊本市保育園連盟保育士会、給食部会の研修や各ブロック保育士会、給食部会の研修についてご意見や要望などどしどしお願いします。

他の事業や講師、会場の日程調整などもあり全ては叶いませんが、できることから少しずつと思います。皆さんの保育士会、給食部会です。

こどものしあわせのため、いっしょに頑張りましょう！

